

2026年3月2日(月)

13:00-17:00

同志社大学  
今出川キャンパス  
良心館401

フランス・ルネサンス期における抒情詩の主体—ソネを中心に  
(伊藤玄吾・同志社大学)

サント＝ブーヴの「伝記批評」について  
(池田潤・白百合女子大学)

万人の声としての内なる声—ユゴー抒情詩の主体をめぐって  
(中野芳彦・青山学院大学)

象徴主義における詩とく私>、詩のく私>  
(松浦菜美子・関西学院大学)

フランシス・ポンジュにおける事物の詩と抒情  
(綾部麻美・慶應義塾大学)

コメンテーター：小野寺賢一（ドイツ文学・東京都立大学）

《公開シンポジウム》

# フランス抒情詩と 作者・主体・声

対面＋zoom開催

- 対面参加・zoom参加ともに、下記URLまたはQRコードから2月25日(水)までに事前申込をお願いいたします。
- 対面参加は事前申込なしでもご参加いただけますが、なるべく事前登録にご協力ください。
- zoom参加の方には2月末ごろメールにてzoomミーティング情報をお送りします。

URL：<https://forms.gle/aRS2mKfYPT5wvFS99>

お問い合わせ：poesie.lyrique.francaise@gmail.com

本シンポジウムはJSPS科研費「ドイツ語圏を中心とするヨーロッパにおける抒情詩の『話者』概念の展開」（22K00454）の助成を受けて開催します。







## 《プログラム》

13:00-13:10 趣旨説明（松浦菜美子）

【第一部】（司会：松浦菜美子）

13:10-13:45 フランス・ルネサンス期における抒情詩の主体—ソネを中心に（伊藤玄吾・同志社大学）

13:45-14:20 サント＝ブーズの「伝記批評」について（池田潤・白百合女子大学）

14:20-14:55 万人の声としての内なる声—ユゴー抒情詩の主体をめぐって（中野芳彦・青山学院大学）

（休憩）

【第二部】（司会：中野芳彦）

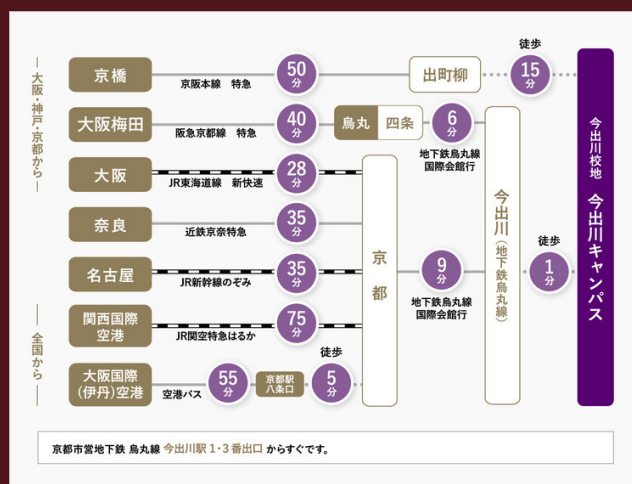
15:10-15:45 象徴主義における詩と＜私＞、詩の＜私＞（松浦菜美子・関西学院大学）

15:45-16:20 フランシス・ポンジュにおける事物の詩と抒情（綾部麻美・慶應義塾大学）

16:20-17:00 コメント 小野寺賢一（ドイツ文学・東京都立大学）

ラウンドテーブル

## 《交通アクセス》



## 《キャンパスマップ》

会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館401

